

## ■平面計画

- ・遺族・会葬者の心情に配慮し、他会葬者との動線交錯のない円滑な移動が可能な計画とします。
- ・コンパクトで効率的な動線計画とし、高齢者が比較的多い会葬者に配慮します。
- ・管理諸室は遺族・会葬者の到着が視認しやすく、火葬諸室と連携が容易な位置に配置します。
- ・基準に則したバリアフリー対策に加え、柩台車の移動に配慮した誘導床材のレイアウトなど、利用者の誰もが使いやすい施設とします。

### 【火葬利用エリア】

- ・エントランスホールはゆとりのある広さとし、多くの会葬者に対応できる計画とします。
- ・1炉に対し1告別兼収骨室とし、会葬者が多い場合でも独立して利用できる計画とします。
- ・同時2火葬受付が可能な計画とすることで、需要の多い午前中にゆとりをもった受け入れが可能な計画とします。
- ・告別・収骨室は天井が高く、柔らかな光がやさしく照らし、厳かな気持ちで故人とのお別れ及び骨上げに臨める厳粛な葬送空間とします。
- ・北側廊下は里山の豊かな自然を視覚的に取り込み、木漏れ日が差込む中で、最期の儀式に静かな気持ちで臨めるように配慮します。

### 【待合利用エリア】

- ・敷地東側に開ける豊かな里山の眺望や庭園の景色を待合室に取り入れ、秩父の原風景を眺めながら故人を偲ぶ場として、安らぎの空間を創出します。
- ・待合ホールには、キッズコーナーや授乳室を併設します。
- ・各待合室に湯沸しスペースを設置し、配膳サービスの容易な計画とします。

### 【後方エリア（管理、機械室等）】

- ・火葬利用エリア及び待合利用エリアとの連携と、バックヤードからのアクセスを考慮して、敷地南側にまとめて配置します。

## ■外観計画

- ・屋根は、山並みに合わせた勾配のある大屋根とし、秩父の里山景観に調和した外観計画とします。
- ・外壁や大屋根は、周辺の山林と調和した落ち着いた色調の素材を採用します。

## ■内装計画

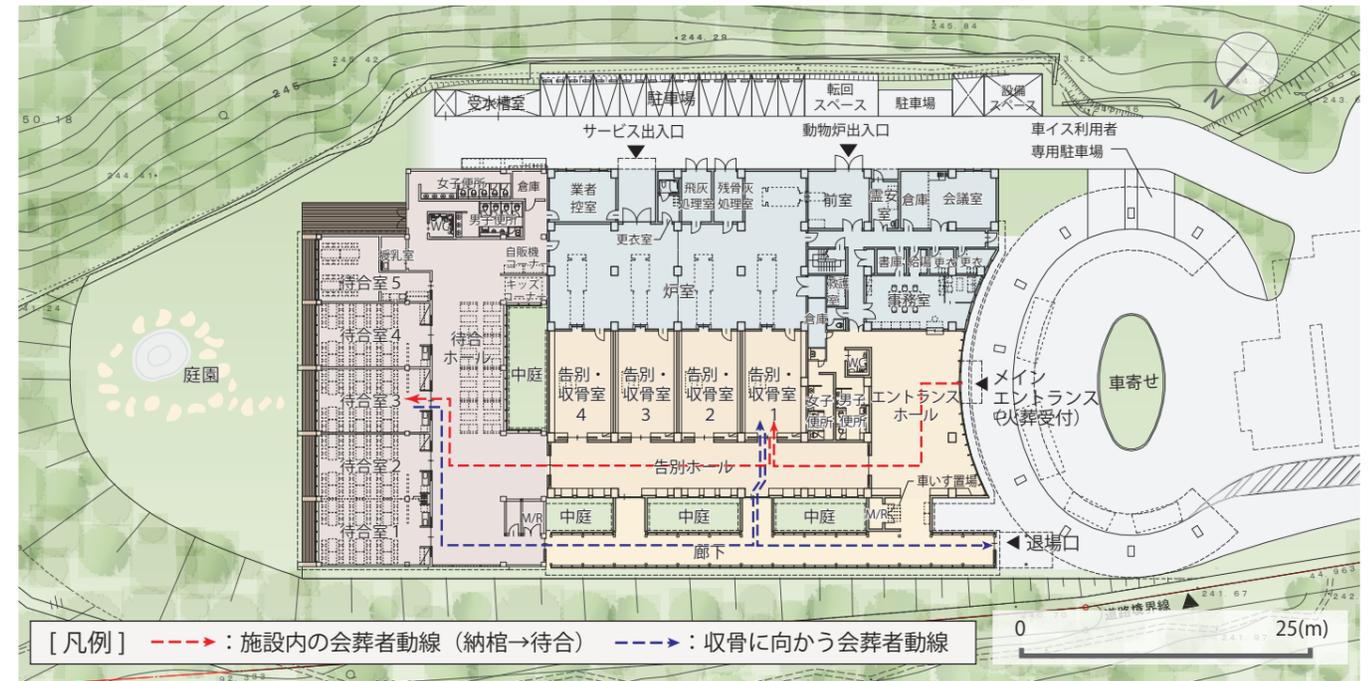
- ・会葬者が利用するエリアには、秩父の記憶と共にある山、森、林の地場産材木を積極的に利用します。
- ・儀式の流れに沿った荘厳性、緊張感の度合いに合わせ、木製のルーバー材、リブ材、羽目板などを組み合わせ合わせた、内装の木質化を図ります。
- ・木を基調とした内装に、秩父の四季の草花を織り込んだ「銘仙」をアクセントとして使い、秩父の記憶と重なる安らぎの空間を演出します。

## ■環境配慮計画

- ・遺族・会葬者エリアは高气密・高断熱とし、空調負荷の低減を図ります。
- ・待合室等の窓面はペアガラスを採用し、空調負荷を低減します。
- ・室内には自然光を取り入れながら、照明設備の自動点滅制御を行うことで、施設全体の照明エネルギーを低減します。
- ・最も発生音の大きい除塵設備機械室は住宅地からの離隔を充分確保し、周辺への騒音を抑える計画とします。

## ■災害対策

- ・災害に強い施設づくりを行い、大規模災害後においても稼働可能な施設を目指します。
- ・停電時に備え、自家発電機設備を設置します。



○平面計画イメージ (S=1/600)



○外観イメージ

## ■建物の諸元

所在地	秩父市大宮5373番地2外地内
敷地面積	約2.28ha
用途	火葬場
構造規模	鉄筋コンクリート造、一部木造 地上2階/地下0階
建築面積	約2,750㎡
延床面積	約2,900㎡
施設諸元概要	人体炉4基、動物炉1基 告別ホール 告別・収骨室 4室 待合ホール 待合室 5室 (50人収容4室、25人収容1室) 駐車場 利用者駐車場90台 (内、車いす使用者用2台)、バス駐車場5台

※本概要版の内容については、今後の実施設計で変更になる場合があります。